



第 16 号



岩江中だより

発行日：令和5年 1月23日
 文責：三春町立岩江中学校長
 電話：0247-62-8290
 F A X：0247-62-8380
 Email：iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営のテーマ 『変えてはならないものを守るために、変えるべきものを変え続ける』

「締めくくりと準備」、大切な3学期がスタートしました。

【第3学期始業式】1月10日（火）※始業式校長式辞一部抜粋

三学期はどんな時期なのか、なぜ大切なのか、三つ話をします。

一つ目。三学期は、「未来に新たな希望をもち、挑戦を始める時期」です。未来はいつも空白です。人は先の見えない空白の未来に「不安」、あるいは「希望」のどちらかを描きます。未来を「希望」で描く人は、次に「挑戦」を選びます。挑戦の先に待ち受けるのは、もしかすると「失敗」かもしれません。しかし、「挑戦」を選んだ人はたとえ失敗しても、失敗を真摯に受け止め、また次も「挑戦」することを選びます。目の前の「失敗」だけに左右されず、夢をもって「挑戦」し続けることの価値を胸に刻み、力強く進み始める。三学期はそんな時期です。

二つ目。三学期は、「岩江中の良さを実感し、伝統をつなぐ時期」です。三年生はあと二ヶ月で卒業の日を迎えます。岩江中での三年間をじっくりと振り返りながら、この仲間がいたからこそ経験できた多くの感動を思い起こしてください。岩江中でしか経験できなかった多くの学びと、その学びから得た自分の成長を見つめてください。これから、受験に向けて正念場が続きますが、これからの二ヶ月が、受験一色で過ぎてしまうのは物足りません。後輩に何を残せるか、何を残すべきかを考え、日々の生活で模範を示し続けてほしいと思います。一・二年生は、そんな三年生の姿と行動から、岩江中の良さを探し、見つめてほしいと思います。岩江中の伝統をつなぎ、引き継ぐ。三学期はそんな時期です。

三つ目。三学期は、「今年度を振り返り、新年度の準備を完成させる時期」です。緑が芽吹き花が咲き競う春を迎えるためには、もう少しの試練が必要です。一年生は、後輩を迎え先輩になる春、二年生は、最上級生となり岩江中の顔となる春、三年生は、自分の意志で選んだ道を歩み始める春。それぞれの春に向けて、解決しなければならない課題を克服し、同時に周囲に認められている自分の良さや持ち味を自覚しながら、飛躍に向けた準備を整え完了させる。三学期はそんな時期です。

三学期がもつ三つの意味を一人ひとりがしっかりと捉え、真の「自立」に向けた歩みを、着実に進めていきましょう。



【岩江小中学校・学校保健委員会】1月18日（水）

岩江小学校・中学校合同の学校保健委員会を開催しました。

学校医・学校歯科医・学校薬剤師・小中学校 PTA 会長・幼稚園長・学校運営協議会長の皆さんとともに、岩江地区の小中学生の健康課題について協議しました。

今年度の健康診断の結果から、小中学生ともに、う歯（むし歯）の所有や肥満傾向の出現に課題があることが報告されました。子どもの将来の健康に影響を与える指標です。

学校でも児童生徒の指導を継続していきますので、ご家庭での協力をお願いします。

未処置歯のある児童・生徒の割合（％）

